

# 今ある火力発電所と石炭火力建設計画



107万kW

千葉パワー(株)  
(中国電力・JFE スチール)  
(仮称) 蘇我火力発電所




100万kW  
×  
2基

(株) 千葉袖ヶ浦エナジー  
(東京ガス・九州電力・出光興産)  
(仮称) 千葉袖ヶ浦火力発電所  
1・2号機

65万kW  
×  
2基

(株) JERA  
(東京電力・中部電力)  
横須賀火力発電所 新1・2号機

10km

-  新規石炭火力発電所建設計画
-  石炭火力発電所
-  LNG火力発電所

# 石炭魔人が 空を占拠!?



石炭魔人

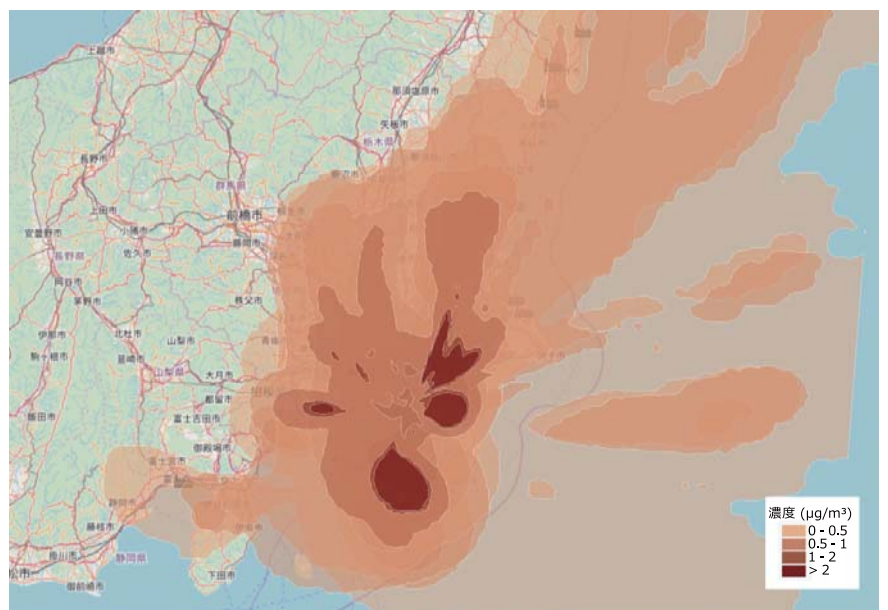
東京湾沿岸の大型石炭火力発電所建設計画は全部で5基（裏面）。  
これらの発電所が動くと、PM2.5等の大気汚染物質が、  
東京湾岸を中心に関東の空を覆いつくす可能性もあります。

## PM2.5による健康被害 特に子どもや病気の人は深刻

PM2.5は粒子が非常に小さく、大気汚染物質の除去装置も通過しやすいとされています。粒子が小さいため肺胞や血管にも侵入し、短期ばく露による急性影響、長期ばく露による慢性影響があります。それぞれ呼吸器系や循環器系の病気、急性心筋梗塞のリスクが高まり早期死亡にもつながりかねません。

## 硫黄酸化物(SOx)や 窒素酸化物(NOx)の健康影響

SOxは呼吸機能に影響を及ぼし、眼の粘膜に刺激を与えるほか、酸性雨の原因物質の一つでもあります。また、NOx、ばい塵は光化学スモッグの原因にもなります。



出典：「石炭汚染マップ」 袖ヶ浦、千葉、横須賀の3カ所で計画中の石炭火力発電所が稼働した場合のPM2.5排出シミュレーション（7月）結果

## いまさら石炭火力発電所は必要ありません！

### ① 電気は足りています！

日本では東日本大震災以降省エネが進み、電力需要は1割下がりました。東京電力管内に送電されていた原発も、現在動いていませんが、それでも電気は十分に足りています。また再生可能エネルギーなどの普及も進んでいるため、新たな石炭火力は明らかに過剰です。

### ② パリ協定で「脱炭素社会」を目指す時代へ

2017年、「パリ協定」が発効し、これからはCO<sub>2</sub>を排出しない「脱炭素社会」を実現させる時代になりました。そのために、CO<sub>2</sub>をたくさん排出する石炭火力発電所から撤退する宣言をする国（イギリス、フランス、カナダなど）や自治体が増えています。

### ③ 再生エネルギー100%を目指す企業が増えている

リコーや富士通、イオンなどのように、2050年までに再生可能エネルギー100%を目指す企業が増えています。石炭火力発電所でつくられる“汚い電気”は、時代の要求に答えていません。



アンチコールマン

石炭火力を考える東京湾の会 <http://nocoal-tokyobay.net/>

〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7 一番町村上ビル6F 気候ネットワーク東京事務所内  
TEL: 03-3263-9210 / FAX: 03-3263-9463 / E-Mail: [tokyo@kiconet.org](mailto:tokyo@kiconet.org)

(2018年9月)